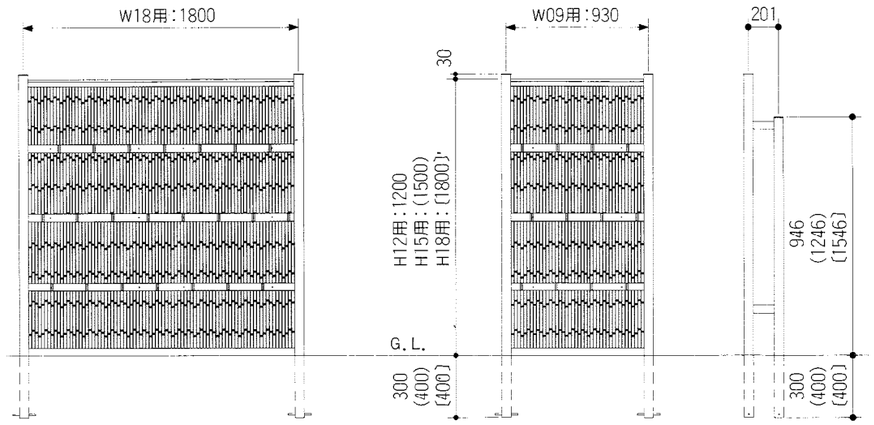
新日軽

縦御簾垣（タテミスガキ） 取付説明書

取説番号 ME−245

姿図



梱包内容明細

■パネルセット

幅(W)	薄青竹色記号	枯竹色記号	寸法(H)	梱包内容
09	TNTA0912D	TNTA0912Y	12用	3枚入
	TNTA0915D	TNTA0915Y	15用	3枚入
	TNTA0918D	TNTA0918Y	18用	3枚入
18	TNTA1812D	TNTA1812Y	12用	6枚入
	TNTA1815D	TNTA1815Y	15用	6枚入
	TNTA1818D	TNTA1818Y	18用	6枚入

■押え竹セット

幅(W)	薄青竹色記号	枯竹色記号	梱包内容
09	TNTAZA09D	TNTAZA09Y	押え竹6本 M5×25ℓタッピンネジ13本
18	TNTAZA18D	TNTAZA18Y	押え竹6本 M5×25ℓタッピンネジ26本

■上下枠セット

幅(W)	セピアブラック色記号	梱包内容
09	SNTAWA09	上枠1本・下枠1本
18	SNTAWA18	上枠1本・下枠1本

■支柱セット

名称	セピアブラック色記号	寸法(H)	梱包内容
間柱	SNTAM12	12用	柱セット1本 上下枠取付ブラケット 4個 中間止メブラケット 4個 M5×12ℓトラスビス 16本 M4×10ℓトラスビス 8本 アンカー棒1 1本
	SNTAM15	15用	
	SNTAM18	18用	
控え柱付間柱	SNTAHM12	12用	柱セット1本 上下枠取付ブラケット 4個 中間止メブラケット 4個 M5×12ℓトラスビス 16本 M4×10ℓトラスビス 8本 アンカー棒 2本
	SNTAHM15	15用	
	SNTAHM18	18用	
端柱	SNTAMT12	12用	柱セット1本 上下枠取付ブラケット 2個 中間止メブラケット 2個 M5×12ℓトラスビス 8本 M4×10ℓトラスビス 4本 アンカー棒 1本
	SNTAMT15	15用	
	SNTAMT18	18用	
控え柱付端柱	SNTAHT12R SNTAHT12L	12用	柱セット1本 上下枠取付ブラケット 2個 中間止メブラケット 2個 M5×12ℓトラスビス 8本 M4×10ℓトラスビス 4本 アンカー棒 2本
	SNTAHT15R SNTAHT15L	15用	
	SNTAHT18R SNTAHT18L	18用	
90°コーナー柱	SNTAMK12	12用	柱セット1本 上下枠取付ブラケット 4個 中間止メブラケット 4個 M5×12ℓトラスビス 16本 M4×10ℓトラスビス 8本 アンカー棒 1本
	SNTAMK15	15用	
	SNTAMK18	18用	
120°コーナー柱	SNTAMX12	12用	柱セット1本 上下枠取付ブラケット 4個 中間止メブラケット 4個 M5×12ℓトラスビス 16本 M4×10ℓトラスビス 8本
	SNTAMX15	15用	
	SNTAMX18	18用	

施工前の注意事項

1 コンクリート・モルタル仕上げについて

新日軽のアルミ製品はＪＩＳの表面処理規定を十分クリヤーした製品をお届けしていますが、取扱いによっては異状腐食をおこし思わぬトラブルとなりますので、施工にあたっては次のような点を注意してください。

①モルタル用に**海砂**を使用されますと、塩分が多量に含まれていますから腐食の原因になりますのでその使用を避けていただくか、十分水洗いしたものを使用してください。

②モルタルやコンクリートの**抽出液**が工事中にアルミ製品の表面を流れないように注意してください。
抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になります。

③モルタルやコンクリートの**急結剤**は腐食の発生や促進作用があるのでその使用を避けていただくか、塩化カルシュウムや塩素系の化合物・硅酸ナトリウム等の入っていないものを使用してください。

④施工時にアルミ製品の表面に**付着**したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。

⑤アルミ製品と**銅板やラス**等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合にはビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。

⑥腐食の恐れのある**接着剤や化学薬品**を施工上使用する場合は、アルミ製品と接触しないようにしていただくか、接触する部分を完全に養生してください。

2 竹垣全体の強度確保について

《縦御簾垣》はパネルタイプの竹垣のため、竹垣全体で風を受けますので竹垣全体の強度保持に十分注意してください。

①基礎は原則として布基礎を標準施工とし、鉄筋を縦・横に配筋し《縦御簾垣》のアンカー棒と確実に締結してください。

②基礎巾15cm以上、根入深さ45cm以上確保し、施工現場に応じ、フーチングを設けてください。
また、控え柱部分にも基礎を設けてください。

③控え柱付間柱セットは端部および、直線連結部２スパンに１個所使用してください。（標準施工）

④各部材の組立は指示するネジで、ネジ止め個所を全て確実に止めてください。

■特に下記のような施工現場では基礎を大きめに設けると共に支柱セットは全て控え柱付柱セットをご使用ください。

1 台風が頻繁に飛来する地区や海岸沿いの崖付近など特に風の強い場所。
2 特に地盤が軟弱な場所。

裏面をご覧ください。

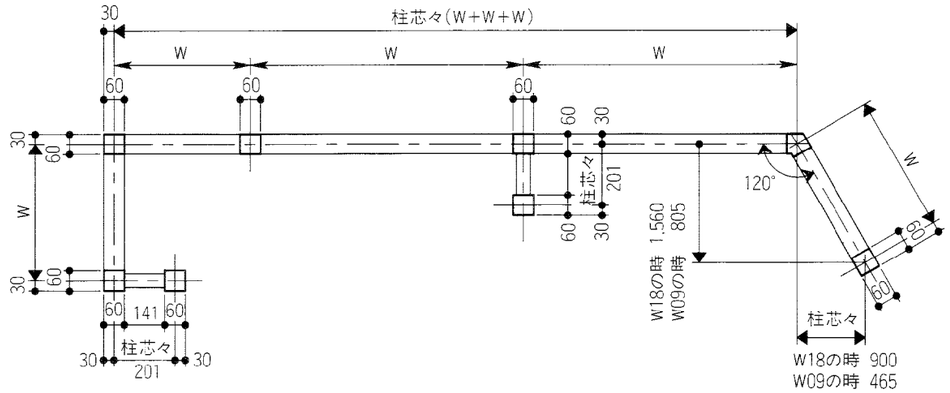
施工手順

1 柱位置の設定・基礎型枠の設置

縦御簾垣は間柱方式のため、全体の枠組み(2参照)をした後に柱を固定してください。

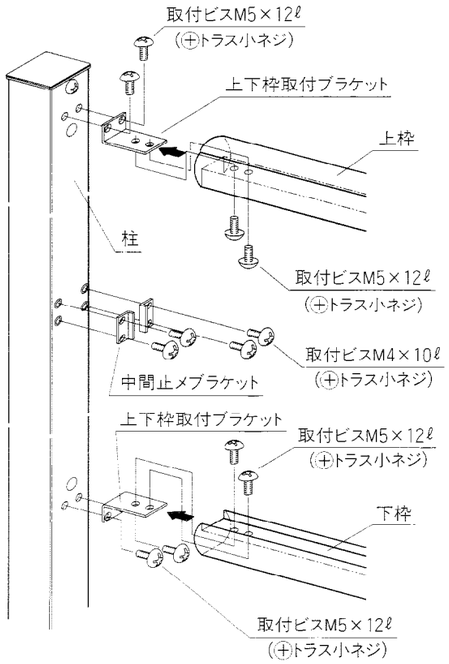
1. 下図標準柱セット配置図を参照し柱の位置を決めてください。
2. 基礎高さは竹垣の高さサイズを考慮し設定してください。(柱埋込み姿図参照)
3. 柱セット位置に合わせ基礎型枠を設置してください。
4. 型枠内に配筋し、柱位置及び控え柱位置に捨てコンを打ち、水平レベルを出してください。

〔柱セット配置図〕端柱↔90°コーナー柱↔間柱↔120°コーナー柱↔端柱



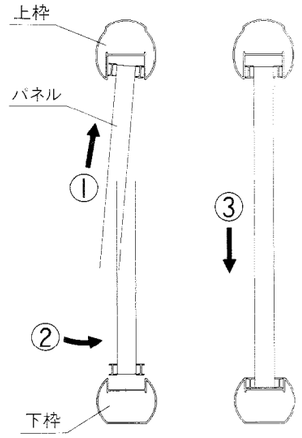
2 柱セット・上下枠セットの取付け

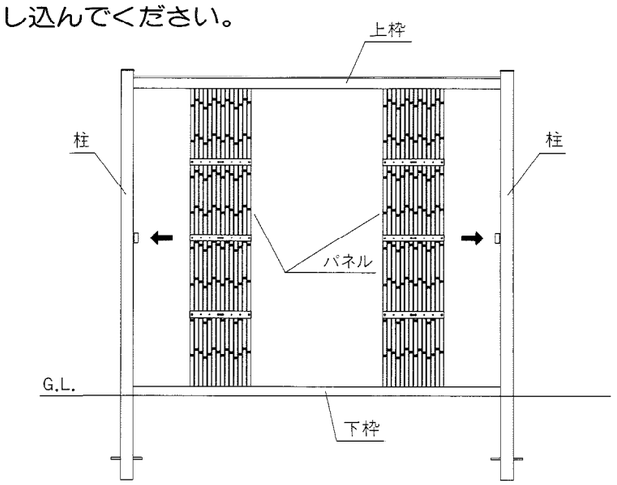
1. 上下枠取付ブラケットを所定の取付ビスで柱に固定してください。
2. 上枠及び下枠の両端を上下枠取付ブラケットに差し込み、所定の取付ビスで固定してください。
3. 中間止メブラケットを所定の取付ビスで柱に固定してください。



3 パネルセットの取付け

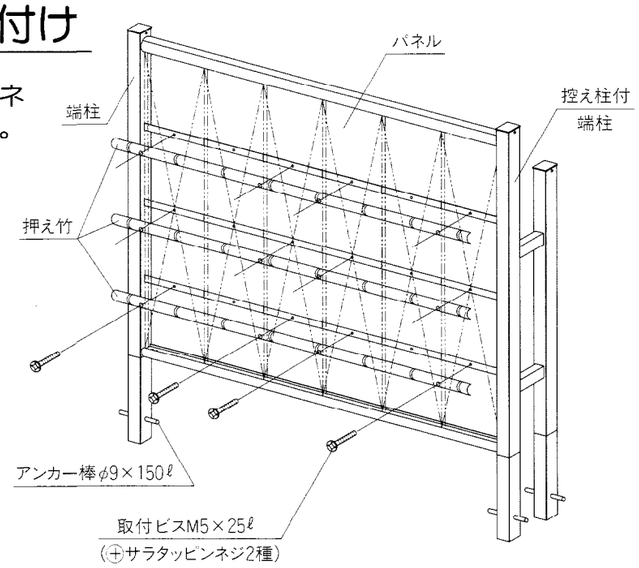
1. 下図の①、②、③の手順でパネルを上下枠内に差し込んでください。
2. パネルが柱と接触するまで柱側に移動させてください。
   このとき、パネルや上下枠を傷つけないよう注意してください。
3. 残りのパネルを上下枠内に差し込んでください。





4 押え竹セットの取付け

1. 押え竹を所定の取付ビスでパネルの両面に固定してください。



5 竹垣のコンクリート打ち

1. 柱のアンカーと基礎の鉄筋と締結してください。
2. 竹垣全体の水平・垂直・出入りの確認してください。
3. 基礎型枠にコンクリート打ちを行い竹垣を固定してください。
4. コンクリートがかたまる前にもう一度水平・垂直・出入りの確認をしてください。